

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

| | |
|------------|---|
| Title | 隔離病舎（熊本病院入院中の歌） |
| Author(s) | 古野，秀谷 |
| Citation | 龍南會雜誌， 1 5 9： 5 2 - 5 2 |
| Issue date | 1915-12-15 |
| Type | Departmental Bulletin Paper |
| URL | http://hdl.handle.net/2298/6543 |
| Right | |

隔離病舎

(熊本病院入院中の歌)

三部二年

古野秀谷

しまらくは隔離病舎の患者なりしかすかに世の味氣なきかな
眞正のチフスなりけり院長の去りし後よりかはと啼く鳥
そよろそよろ風の光れば何處よりにはふ藥ぞ部屋の明るし
開け捨てしごゑに廊下の電燈のはのかに赤し黄昏にけり
西日ふり一羽の雲雀病院のつばに砂浴む土ぼこり黄に
なぐさめの湧かなく木肌匍ひ落つる雫に見入りしづ心なし
泣きたさのこみ上ぐるかも現そ身に死の近かるを鳴かずや鳥よ
いつ我の癒ゆる事ども太陽は今日も西日となりてい照るに
母よ子を迎ひに來よと電報を打たせけるかも喜びに堪へず
子燕巢立ちせし日を薄暗き部屋に村醫者呼びにけるかも

(退院の日)